

第46号議案

小型動力ポンプ付ポンプ自動車等購入の件

下記のとおり小型動力ポンプ付ポンプ自動車等を購入することについて、加東市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成18年加東市条例第46号）第3条の規定により、議決を求める。

令和8年6月26日提出

加東市長 岩 根 正

記

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | 購入する財産 | 小型動力ポンプ付ポンプ自動車 1台
小型動力ポンプ付積載車 2台
小型動力ポンプ 3台 |
| 2 | 契約の方法 | 制限付一般競争入札 |
| 3 | 購入予定金額 | 金71,830,000円 |
| 4 | 契約の相手方 | 兵庫県たつの市新宮町井野原276番地1
有限会社岡本ポンプ
代表取締役 |
| 5 | 支出予算科目 | 令和8年度加東市一般会計予算
（款）消防費
（項）消防費
（目）消防施設費 |

第 4 6 号議案 説明資料 1

- 1 購入目的 加東市消防施設等整備に係る事業採択基準及び補助金の交付に関する要綱（平成 1 8 年加東市告示第 1 0 9 号）に基づき、新規登録後 1 7 年以上経過した小型動力ポンプ付ポンプ自動車等を更新する。もって、地域の消防防災力の強化を図る。
- 2 納入場所 加東市内
- 3 納入期限 令和 9 年 2 月 2 6 日
- 4 契約内容 小型動力ポンプ付ポンプ自動車 1 台、小型動力ポンプ付積載車 2 台及び小型動力ポンプ 3 台の購入
（詳細は説明資料 3 ～ 5 仕様書のとおり）

第46号議案 説明資料2

1 入札の経過

入札公告年月日 令和8年4月28日

入札年月日 令和8年5月26日から令和8年5月27日まで

開札年月日 令和8年5月28日

開札場所 加東市役所 501会議室

2 入札参加者名及び開札結果

入札参加者名	入札金額(円)
(有)岡本ポンプ 代表取締役	65,300,000(落札)

令和8年度

小型動力ポンプ付ポンプ自動車
仕様書

加東市

小型動力ポンプ付ポンプ自動車仕様書

1 総則

- (1) この仕様書は、加東市（以下「当市」という。）が購入し加東市消防団に配備する小型動力ポンプ付ポンプ自動車（以下「車両」という。）の製作に関する一切に適用する。
- (2) 車両の製作は、この仕様書及び製作承認図等（契約後受注者にて作成すること。）に定めるとおりとし、装備品・附属品等は、新規製品のもので耐久性に富むものを使用すること。
- (3) 車両は、道路運送車両法及び道路運送車両法の保安基準に適合し、緊急自動車としての承認が得られること。
- (4) 入札にあたりこの仕様書を了承し、疑問点については、定められた期間、方法により質問し、十分に熟知した上で応札すること。
- (5) 受注者は、契約後、仕様内容について当市担当職員と打合せを行い、製作承認図等を当市に提出し、承認を得て製作に着手すること。なお、製作中に生じた疑義については、当市担当職員に連絡し、承認又は指示を受けること。
- (6) 受注者は、製作にあたりこの仕様書を変更する必要がある場合には、当市担当職員と打合せの上、承認を得ること。
- (7) 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- (8) 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- (9) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。
 - ① 艤装中間検査
 - ② 完了検査
- (10) 納期、台数及び納入場所は、次の通りとする。
 - ① 納期：令和9年2月26日
 - ② 台数：1台（「上滝野分団」）
 - ③ 納入場所：加東市内上記納期までに納入することを原則とするが、ベース車両の生産状況や社会情勢等の予期せぬ事情により、納期までの納入が困難な場合は、納期の延長について、市と受注者が協議できるものとする。
- (11) その他
 - ① 保証期間：シャシは納入後1年間とする。
艤装部分は納入後2年間とする。
 - ② 登録手続等：車両の登録手続は、受注者が行うものとする。ただし、自動車登録手数料、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及びリサイクル料などの登録に関する一切の経費については、当市が負担する。
 - ③ 特記事項：本仕様書は、車両の特性上、長期間運用することを前提に考案したも

ので、長期使用に十分耐えうるものであること。

- ④ そ の 他：受注者は、旧消防車両の廃車手続きの一切を行うこと。

また、その際に発生する利益や処分費用等を考慮の上応札すること。
ただし、旧消防車両には、小型動力ポンプ、その他の装備品は付属しないものとする。

(参考) 旧消防車両

【上滝野分団】日野 デュトロ (初度登録：平成 21 年 3 月)

車台番号：XZU304-1007922

型 式：BDG-XZU304E

走行距離：4,957km (令和 8 年 3 月末時点)

2 提出書類

- (1) 受注者は、契約後に次の書類を 2 部提出すること。

- ① 製作工程表
- ② 製作承認図 (艀装外観 5 面図)
- ③ キャブ内艀装図
- ④ ポンプ配管図
- ⑤ 電気配線図
- ⑥ メーカー発行の小型動力ポンプ代理店証明書類の写し
- ⑦ 装備品一覧表
- ⑧ その他、当市から指示したもの

- (2) 受注者は、納入時に次の書類を 2 部提出すること。

- ① 車両取扱説明書
- ② ポンプ取扱説明書
- ③ ポンプ性能試験成績表
- ④ 小型動力ポンプ取扱説明書
- ⑤ 国家検定合格証及び鑑定合格証の写し
- ⑥ 各種装備品の取扱説明書
- ⑦ 受託試験合格プレートの写し
- ⑧ その他、当市から指示したもの

3 小型動力ポンプ

- (1) 2 気筒 2 サイクル水冷式とする。
- (2) 検定出力 32 k w とする。
- (3) セルモータ・リコイル始動方式とする。
- (4) 環境にも配慮した低騒音・低排煙タイプの機種とする。
- (5) 電子制御燃料噴射システムとする。(燃料コック、キャブレター不要であること。)
- (6) 分離給油方式とする。

- (7) オーバーヒート防止自動停止装置を装備していること。
- (8) 真空ブレードの材質は耐久性に優れたピーク材（樹脂系）とすること。
- (9) 冷却水温上昇防止用の自動バルブを装備していること。
- (10) 電源切り忘れによるバッテリー放電防止の為、オートパワーオフ機能（30 分経過後 OFF）を装備すること。
- (11) バッテリーの充電が十分でなくても、リコイルにより ECU が作動しエンジンが始動すること。
- (12) 自己診断機能を有すること。
（異常検知 セーフティモードで運転継続／点滅パターンで診断可能）
- (13) ガバナ機構以外に、エンジンオーバーレボ（高回転防止）機能を有すること。
- (14) 参考製品 ㈱シバウラ防災製作所 FF510（国家検定 B-2 級）

4 車両・装備及び附属品

(1) シャシ

シャシは契約締結後に発注した新規製品に限る。

- ① 型 式 等 消防車専用ダブルキャブ
- ② 最 高 出 力 150PS 以上
- ③ 排 気 量 2,900cc 以上
- ④ 燃料の種類 ディーゼル
- ⑤ 駆 動 方 式 二輪駆動
- ⑥ 変 速 形 式 オートマチック方式
- ⑦ 車 体 寸 法 全長 5,600mm 程度 全幅 2,000mm 程度 全高 2,600mm 程度
- ⑧ 乗 車 定 員 6 名（前部席 3 名、後部席 3 名）
- ⑨ バッテリー 標準
- ⑩ タ イ ヤ スペアタイヤ含めスタッドレスとすること。
- ⑪ その他装備 電動キャブチルト、オイルパンヒーター及びコード、エア・コンディショナー、サンバイザー、サイドバイザー、足マット、泥除けゴムを装備すること。

(2) 車体の構造

- ① 艤装は総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを考慮して製作すること。
- ② 車両の重要箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要箇所には点検口または点検扉を設けること。
- ③ LED 散光式警光灯等の操作装置は、前座席上部またはダッシュボードに設置し、乗降時及び走行時に支障がないようにすること。また、電源系統は ACC 連動とすること。マグネット式防水プレートを設け、外部 100V 電源から車両のバッテリーを全自動充電ができること。（車両用バッテリー充電器は防水対策を行い取付けること。）
- ④ ボディ側板は、一般構造用圧延鋼材を使用し、上端周辺は外側に折り曲げ加工する。

各ステップ及び左右丸フェンダーは、傷防止のためアルミ縞板を張り、小型動力ポンプ積載面等は、出来る限り軽量化を図りアルミ縞板とすること。サイドステップは乗降性向上のためキャビン後部座席まで延長し、各ステップはアルミ縞板とし内側のかえり取りを施すこと。

- ⑤ 小型動力ポンプの積載装置（引出式レール台）を車両後部に設け、小型動力ポンプを安全確実に固定すること。なお、引出式レール台は、ポンプの積み降ろしがしやすいように、可能な限り、車両後部に水平に出てくる構造とする。また引出式レール台は取り外し可能な構造とすること。
- ⑥ 車両は錆落としの上、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理を行い、充分乾燥させてから、赤色ウレタン塗料により2回以上の塗装し、その上にクリアー塗装を施すこと。塗装後は磨き作業により塗装表面を整えること。
- ⑦ 艀装使用鋼板は、全てカラー鋼板とし、サビの発生しやすい黒皮鋼板は不可とする。
- ⑧ 艀装に使用するボルト、ナット及びネジ等は、全てステンレスを使用すること。
- ⑨ 車両後部左右側板上部に1段手摺を各1個取付けること。
- ⑩ 車両バッテリーは点検容易な引出し式とすること。
- ⑪ ポンプ室上部にアルミパーシャッターを設け、ホース等資機材（発電機含む）を収納出来る構造とすること。発電機、投光器の資機材にはバンド等で固定すること。
- ⑫ ポンプ室側板は密閉式とし、点検手入れが容易に行える構造とすること。
- ⑬ キャビン後部（艀装部）の左右に昇降用足掛けを取付けること。
- ⑭ 吸水口は、消防呼称75mmボールコック（ストレーナ付）とし、車両両側に各1個設け、75mm×10mの吸管を常時接続する構造とすること。（連続呼水装置付）
- ⑮ 放水口は、消防呼称65mmボールコックとし、車両両側に各2個設けること。
- ⑯ 中継口は、消防呼称65mmボールコックとし、車両両側に各1個設けること。
- ⑰ 不凍液注入装置は、カップ式とすること。
- ⑱ キャブの両側面に乗降用の手摺を設けること。
- ⑲ キャビン内後部に防火衣等を掛けるフックを5個取付けること。またリヤウインドウには破損防止の保護枠を取付けること。
- ⑳ 牽引フックを車両前後部に設けること。
- ㉑ ナンバープレートは車両後部中央に埋め込み式で取付けすること。

（3）水ポンプ装置及び真空ポンプ

- ① ポンプ形式は、アルミ製高圧二段バランスタービンポンプとすること。
- ② ポンプ性能は、A-2級。送水圧力0.85MPaにおいて放水量2,000L/min以上、高圧送水圧力1.4MPaにおいて放水量1,400L/min以上の性能を有するものとする。
- ③ 水ポンプは、省力化、重量軽減の為、アルミ製とし、シャシエンジンのP.T.Oにより駆動されること。P.T.Oの操作は運転席に設けられたスイッチにより行うものと

すること。また、インペラー部もアルミ製とし、特殊コーティングを施したものとすること。

- ④ グランド部は、メカニカルシールとすること。また、主ポンプの空運転が可能な構造とすること。
- ⑤ 真空ポンプは完全無給油式真空ポンプとすること。
- ⑥ 操作機構は、左右側板に設けた押しボタン式スイッチにより行うものとし、ボタンを押すだけで自動的に最適なエンジン回転まで上昇させ、簡単に揚水作業ができること。ただし、通常の操作が不能な場合に真空ポンプを作動できるように非常回路を設けること（手動装置）。また真空ポンプ作業後 30 秒で揚水完了しない場合は、ランプの点滅等と共にブザーで警報すること。
- ⑦ 性能については、吸管外端し閉塞にて 30 秒以内にて試験時大気圧の 84%に達すること。
- ⑧ 真空ポンプ操作中は、水と空気のみ排出する構造とし、落水しても即座に始動開始が可能でポンプ内に大量の水が吸入されても支障のないものとすること。
- ⑨ 真空ポンプのクラッチ本体は電磁式とし、クラッチの入り切りの操作はボタン式とすること。また、定格速度で 30 分間、最高負荷で回転させた場合でも、機能及び性能に支障が生じないこと。
- ⑩ ポンプ操作部付近に耐振型圧力計、耐振型連成計を設けること。圧力計及び連成計は暗闇においても緻密な操作が可能な透過照明式計器盤であること。
- ⑪ エゼクター装置をポンプ室左右 1 個取り付けること。一方側の吸管内の水流を利用して他方側の吸管に呼び水を行う構造とし、呼び水装置は、呼び水完了を指示する装置が設けられているものとし、呼び水弁は容易に開閉操作が出来るもので、かつ気密であること。
- ⑫ ポンプ運転を停止した場合において、ポンプ及び配管系統から排水が出来る構造であること。
- ⑬ 冷却水装置（冷却水還流式）はエンジンオイル、ラジエーター水及びギアケースの冷却のため、冷却水配管を設けること。配管は、ギアケース、エンジンオイルタンク、補助クーラーの順とし一系統にまとめ一箇所のバルブで調整可能とし、バルブは左右に設けること。また調整バルブは、予備回路を設け、それぞれストレーナを備えること。水抜きドレン配管は、ボールコックを除いた他は、右側ステップ下方まで配管し、各ネームプレートを添付すること。

（４）ホース積載装置

- ① キャビン後部に 65mm ホース 10 本以上が積載できるようにホース台を取り付け、積み下ろしが容易にでき、積載部中央にステンレスパイプで仕切り、上部にホースカバーを設けること。
- ② 左右外側面（吸管巻取り中央部）に各 1 個のホース背負器（65mm×20m・2 本用）を取り付ける台を設け、ナイロンベルト等で固定すること。ホース背負器設置

側板に、傷防止のため、アルミ縞板をクリアー塗装後に取り付けること。ホース背負器にはホースの落下防止のため、フック付ゴムバンドを取り付けること。

(5) 警報装置

- ① 拡声器付電子サイレンをキャブ前部の LED 散光式警光灯内に取り付けること。
- ② 電動サイレンをキャブ上部の助手席側に取り付けること。

(6) 照明装置及び灯火

- ① 警報装置及びライト類（サーチライトは除く）のスイッチは、全て運転席において操作できるものであること。
- ② LED 散光式警光灯を、キャブ前部中央部への取り付けすること。（キャブ中央部への取り付けは前方視界重視のため不可とする。）
- ③ 標識灯の記入文字は「上滝野分団」とすること。
- ④ キャビン内天井中央部付近に LED 室内灯を取り付けること。
- ⑤ マップランプを助手席側に取り付けること。
- ⑥ キャビン前部に赤色点滅灯（LED）を左右各 1 個取り付けること。
- ⑦ 左右の吐水口上部及びポンプ操作盤（圧力計、連成計）上部に LED 照明を取り付けること。
- ⑧ 後部手すり上部付近に赤色点滅灯（LED）を左右各 1 個取り付けること。
- ⑨ 伸縮式 LED サーチライトを、側板前後左右に計 4 灯取り付けること。
- ⑩ シャン後部方向指示器、反射鏡及びブレーキランプは、リアステップ左右縁枠に取り付けること。
- ⑪ 路肩灯を左右後輪前部に取り付けること。作動はシャシスモールライト連動とすること。

(7) その他取付品・附属品等

- ① 後部ステップに消火栓媒介金具を取り付けること。
- ② 管鎗立は荷台後方左右に各 1 個取り付けること。
- ③ 分岐管立は 2 個取り付けること。
- ④ ポンプ室後部又は天井に斧、掛矢、剣先スコップ、金てこ、消火器、ホースブリッジを各 1 個、また小型動力ポンプ用吸管（75 mm×6m）1 本取り付けられるようにすること。
- ⑤ スタンドパイプ（単口引上げ式）及び消火栓鍵付蓋用開閉金具を荷台側面（内面）に取り付けること。
- ⑥ 左右側面に無反動管鎗を取り付けること。
- ⑦ とび口は、左側面上部に 2 本取り付けること。なお、取付位置（高さ）が調整できる構造とすること。
- ⑧ 吸管スパナを左右側面外側面に取り付けること。
- ⑨ 右側上部に二連梯子を取り外しが容易にできるように取り付けること。
- ⑩ 車輪止め（ゴム製）を側板外側面に左右各 1 個取り付けること。

- ⑪ 低水位ストレーナーを左側面に取り付けること。
- ⑫ 訓練旗立を荷台部四角に各 1 個取り付けること。
- ⑬ 各操作部（ハンドル・レバースイッチ等）には、名称及び操作方法等を明記すること。
- ⑭ 左右前部ドア側面に、白文字丸ゴシックで「加東市消防団」を入れること。（大きさは約 10 cm×10 cm）同様に左右後部ドアに分団名を入れること。（左書き）
- ⑮ 車両にバックカメラと室内用モニター、ドライブレコーダーを設置すること。
- ⑯ 長期運用するため、艀装の接続部分にシーラーコーキングを施すなど錆止め防止措置を施すこと。

5 取付品、附属品及び艀装品仕様 (1 台当たりの数量)

番号	品 名	規格又は参考指定製品	数 量
1	シャシ	消防専用シャシ 2 駆・ダブルキャブ・AT	1 台
2	小型動力ポンプ	(株)シバウラ防災製作所 FF510	1 台
3	本艀装		1 式
4	団マーク		1 個
5	耐振型圧力計	TNV 耐振型 (LED バックライト付)	2 個
6	耐振型連成計	TNV 耐振型 (LED バックライト付)	2 個
7	エンジン回転計	シャシ固有のもの	1 個
8	エンジン油温計	シャシ固有のもの	1 個
9	ホース背負器	65 mm×20m 2 本用	2 個
10	LED 散光式警光灯 (標識灯 (黄色・分団名入))	(株)パトライト ALD-M1FYFR-RR-53N 24V	1 個
11	拡声器付電子サイレン	(株)パトライト SAP-520FCV マイク付	1 式
12	車両前部赤色点滅灯 (LED)	(株)パトライト LPT-2	2 個
	車両後部赤色点滅灯 (LED)	(株)大阪サイレン LFA-100	2 個
13	伸縮式 LED サーチライト	(株)佐藤工業所 フラッシュボーイ ソブライト	4 個
14	計器灯	LED 計器盤及び吐水口上部に各 1 個	4 個
15	ポンプ室灯	LED	1 個
16	エンジン室灯	LED	1 個
17	消火栓媒介金具	YONE(株) 75 mmネジメス×65 mm差込メス	1 個
18	スタンドパイプ	YONE(株) 800L 鑑定単口引上げ式 アルミ製	1 個
19	金てこ	850mm	1 個
20	剣先スコップ	ステンレス製	1 個
21	梯子	4m 二連梯子	1 脚
22	とび口	1.8m	2 本
23	自動車用消火器	(株)初田製作所 ABC 粉末 6kg20 型	1 本
24	消火栓鍵付蓋用開閉金具	長さ：呼称 800 持手：呼称 300	1 本
25	車輪止め	中型ゴム製	2 個
26	工具セット	藤原産業(株) E-Value ETS-60G 自動車用 60 点組	1 式
27	吸管スパナ		2 個
28	管鎗	YONE(株) PP65A-L 取手バンド整流板入	1 本
		YONE(株) 無反動管鎗 α PL-65A	1 本
29	吸水管	櫻護謨(株) ライトウェイトデラックス 75 mm×6m	1 本
		櫻護謨(株) スーパーデラックス 75 mm×10m	2 本
30	エルボ	YONE(株) AS-75SW・90	2 個

31	噴霧ノズル	YONE(株) プロコンペ 21	1 本
		YONE(株) ダブコンマーク II NV-65W・II	1 本
32	分岐管	YONE(株) 分岐ボールバルブ WB-65・65	1 個
33	ポリカゴ		3 個
34	75 ストレーナー		3 個
35	低水位ストレーナー	日本機械工業(株) D75S	1 個
36	吸口ストレーナー	プラスチック製	2 個
37	中継口ストレーナー	プラスチック製	2 個
38	放水（吐水口）媒介金具	YONE(株) 65 ネジメス×65 差込オス	2 個
		スィーベル吐水口 YONE(株) 65 ネジメス×65 差込オス	2 個
39	吸水管ゴム		4 本
40	中継用媒介金具	YONE(株) 65 mmネジメス×65 mm差込メス	2 個
41	S カン	ステンレス製 両サイド止めキャップ付	6 個
42	吸水管ロープ	10 mm×10m	3 本
43	ホース背負器用フック付 落下防止ゴム		2 本
44	スタッドレスタイヤ	(株)ブリヂストン W989 スペア込	7 本
45	バックカメラ	シャシ標準装備のバックカメラを使用	1 台
46	室内用モニター	シャシ標準装備の室内用モニターを使用	1 台
47	ドライブレコーダー	(株)コムテック DC-DR413	1 台
48	キャブ内 LED 室内灯		1 個
49	照明器具	LED 投光器(60W)LEN-J60D、三脚、防雨型コードリール 30m (SS-30)	1 式
50	発電機	ヤマハ EF900iS	1 台
51	全自動充電器用カバー、コンセント	金属防水プレートカバー、マグネットコンセント、充電用コード 5m1 本含む	1 式
52	リバーシブルホースブリッジ	(株)岩崎製作所 02RV310R	2 個
53	斧		1 個
54	掛矢		1 個
55	丸フェンダー		2 個
56	サイドステップ延長		1 式
57	バッテリー引出装置		1 式
58	路肩灯	LED	2 個
59	収納庫内照明灯	LED	2 個
60	電動サイレン	6SA	1 個
61	オイルパンヒーター		1 個
62	不凍液注入装置	カップ式	1 個

63	ホースカバー		1 枚
64	全赤色塗装		1 式
65	車両文字	白色丸ゴシック	1 式
66	車両用バッテリー充電器		1 個
67	中継圧力制御バルブ	YONE(株) リレーコントロールバルブ タイプF	1 個

参考指定製品は、その後継品であれば別品番であっても可とする。また、他メーカー及び別品番であっても同等品以上であれば可とする。ただし、参考指定製品以外の製品を使用する場合は、入札前に、後継品または同等品以上と説明できる資料を添えて、質疑書を提出することとする。

入札後の製品変更は原則不可とするが、参考指定製品が廃盤になる等の理由で、やむを得ず別製品を使用しなければならない場合は、必ず事前に市担当職員の承認を得るものとする。

令和8年度

小型動力ポンプ付積載車
仕様書

加東市

小型動力ポンプ付積載車仕様書

1 総則

- (1) この仕様書は、加東市（以下「当市」という。）が購入し加東市消防団に配備する小型動力ポンプ付積載車（以下「車両」という。）の製作に関する一切に適用する。
- (2) 車両の製作は、この仕様書及び製作承認図等（契約後受注者にて作成すること。）に定めるとおりとし、装備品・附属品等は、新規製品のもので耐久性に富むものを使用すること。
- (3) 車両は、道路運送車両法及び道路運送車両法の保安基準に適合し、緊急自動車としての承認が得られること。
- (4) 入札にあたりこの仕様書を了承し、疑問点については、定められた期間、方法により質問し、十分に熟知した上で応札すること。
- (5) 受注者は、契約後、仕様内容について当市担当職員と打合せを行い、製作承認図等を当市に提出し、承認を得て製作に着手すること。なお、製作中に生じた疑義については、当市担当職員に連絡し、承認又は指示を受けること。
- (6) 受注者は、製作にあたりこの仕様書を変更する必要がある場合には、当市担当職員と打合せの上、承認を得ること。
- (7) 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- (8) 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- (9) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。
 - ① 艤装中間検査
 - ② 完了検査
- (10) 納期、台数及び納入場所は、次の通りとする。
 - ① 納 期：令和9年2月26日
 - ② 台 数：2台（「窪田分団」「穂積分団」）
 - ③ 納 入 場 所：加東市内上記納期までに納入することを原則とするが、ベース車両の生産状況や社会情勢等の予期せぬ事情により、納期までの納入が困難な場合は、納期の延長について、市と受注者が協議できるものとする。
- (11) その他
 - ① 保 証 期 間：シャシは納入後1年間とする。
艤装部分は納入後2年間とする。
 - ② 登録手続等：車両の登録手続は、受注者が行うものとする。ただし、自動車登録手数料、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及びリサイクル料などの登録に関する一切の経費については、当市が負担する。
 - ③ 特 記 事 項：本仕様書は、車両の特性上、長期間運用することを前提に考案したもので、長期使用に十分耐えうるものであること。

- ④ そ の 他：受注者は、旧消防車両の廃車手続きの一切を行うこと。
また、その際に発生する利益や処分費用等を考慮の上応札すること。
ただし、旧消防車両には、小型動力ポンプ、その他の装備品は付属しないものとする。

(参考) 旧消防車両

【窪田分団】ニッサン アトラス (初度登録：平成 20 年 10 月)

車台番号：SQ2F24-001427

型 式：CBF-SQ2F24

走行距離：2,883km (令和 8 年 3 月末時点)

【穂積分団】ニッサン アトラス (初度登録：平成 20 年 10 月)

車台番号：SQ2F24-001475

型 式：CBF-SQ2F24

走行距離：2,100km (令和 8 年 3 月末時点)

2 提出書類

(1) 受注者は、契約後に次の書類を 2 部提出すること。

- ① 製作工程表
- ② 製作承認図 (艀装外観 5 面図)
- ③ キャブ内艀装図
- ④ メーカー発行の小型動力ポンプ代理店証明書類の写し
- ⑤ 装備品一覧表
- ⑥ その他、当市から指示したもの

(2) 受注者は、納入時に次の書類を 2 部提出すること。

- ① 車両取扱説明書
- ② 小型動力ポンプ取扱説明書
- ③ 国家検定合格証及び鑑定合格証の写し
- ④ 各種装備品の取扱説明書
- ⑤ その他、当市から指示したもの

3 小型動力ポンプ

- (1) 2 気筒 2 サイクル水冷式とする。
- (2) 検定出力 32 k w とする。
- (3) セルモータ・リコイル始動方式とする。
- (4) 環境にも配慮した低騒音・低排煙タイプの機種とする。
- (5) 電子制御燃料噴射システムとする。(燃料コック、キャブレター不要であること。)
- (6) 分離給油方式とする。
- (7) オーバーヒート防止自動停止装置を装備していること。
- (8) 真空ブレードの材質は耐久性に優れたピーク材 (樹脂系) とすること。
- (9) 冷却水温上昇防止用の自動バルブを装備していること。

- (10) 電源切り忘れによるバッテリー放電防止の為、オートパワーオフ機能（30 分経過後 OFF）を装備すること。
- (11) バッテリーの充電が十分でなくても、リコイルにより ECU が作動しエンジンが始動すること。
- (12) 自己診断機能を有すること。
（異常検知 セーフティモードで運転継続／点滅パターンで診断可能）
- (13) ガバナ機構以外に、エンジンオーバーレボ（高回転防止）機能を有すること。
- (14) 参考製品 ㈱シバウラ防災製作所 FF510（国家検定 B-2 級）

4 車両・装備及び附属品

(1) シヤシ

シヤシは契約締結後に発注した新規製品に限る。

- ① 型 式 等 ダブルキャブ
- ② 最大積載量 1.0t 以内
- ③ 最 高 出 力 100PS 以上
- ④ 排 気 量 2,000cc 以下
- ⑤ 燃料の種類 ガソリン
- ⑥ 駆 動 方 式 二輪駆動
- ⑦ 変 速 形 式 オートマチック方式
- ⑧ 車 体 寸 法 全長 5,040mm 程度 全幅 1,700mm 程度 全高 2,270mm 程度
- ⑨ 乗 車 定 員 6 名（前部席 3 名、後部席 3 名）
- ⑩ バッテリー 標準
- ⑪ タ イ ヤ リアタイヤは小径ダブルとし、スペアタイヤ含めスタッドレスとすること。
- ⑫ その他装備 エア・コンディショナー、サンバイザー、サイドバイザー、足マットを装備すること。
- ⑬ そ の 他 平成 29 年 3 月 12 日以降に取得した普通免許で運転できること。

(2) 車体の構造

- ① LED 散光式警光灯等の操作装置は、前部助手席側に設置し、乗降時及び走行時に支障がないようにすること。また、電源系統のリレーマグネット方式は、バッテリーから全ての電源供給を遮断できるものとし、キーON で電源をマグネット接続すること。（バッテリー上がりが多い従来式の切替式メインスイッチのみは不可とする。）また、走行中に小型動力ポンプのバッテリーに充電できる併用装置を取り付け、車両室内に ON、OFF スwitch を取り付けること。小型動力ポンプの全自動充電器は、雨水侵入防止の為、車両後部アルミ鋼板屋根下又はキャブ後部座席下に固定取り付けし、マグネット式防水金属プレートを設け、外部 100V 電源から小型動力ポンプと車両のバッテリーを全自動充電ができること。（車両用バッテリー充電器は、キャブ後部座席下又はキャブ外に防水対策を行い取付けること。）
- ② 荷台を外し、ボディ側板は、一般構造用圧延鋼材を使用し、上端周辺は外側に折り

曲げ加工する。各ステップ及び左右丸フェンダーは、傷防止のためアルミ縞板を張り、小型動力ポンプ積載面等は、出来る限り軽量化を図りアルミ縞板とすること。各ステップはアルミ縞板とし内側のかえり取りを施すこと。また、器具等収納ボックスを左側丸フェンダー前に取り付け、ドア接続蝶番は安全性を考慮し、一体型長蝶番とすること。(個々のブロック蝶番は不可とする。) 上部にはアルミ縞板を張ること。

- ③ 小型動力ポンプの積載装置は、安全確実に固定ができ、かつ、容易に積み下ろしができること。
- ④ 車両は錆落としの上、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理を行い、充分乾燥させてから、赤色ウレタン塗料により 2 回以上の塗装し、その上にクリアー塗装を施すこと。塗装後は磨き作業により塗装表面を整えること。
- ⑤ 艀装使用鋼板は、全てカラー鋼板とし、サビの発生しやすい黒皮鋼板は不可とする。
- ⑥ 艀装に使用するボルト、ナット及びネジ等は、全てステンレスを使用すること。

(3) 小型動力ポンプ固定装置及び車体艀装

- ① 小型動力ポンプを積載したまま吸水、放水が行えるようにすること。
- ② 車両荷台前部に左右側板を片面 2 か所連続平行に外側から小型動力ポンプ操作しやすいよう、開放型(全面縁取り等を施すこと)の窓を設け、エルボ 90 度を左側に直結して、車両荷台後部左側に吸水管 75 mm×8m を取り付けること。また、右側に吸水管 75 mm×6m を取り付け、角部分付近の側板に傷防止アルミ縞板を取り付けること。
- ③ 車両に小型動力ポンプを積載した状態で放水するため、真空時の排水及びマフラーからの排気設備を設けること。また、床板は、アルミ縞板を敷くこと。
- ④ 小型動力ポンプ積載並びに引出し装置は、2 段スライド斜行式で、地面に接地すること。接地面は、土台の左右の柱は直径 35mm の強力丸棒鋼を使用し、底部を左右平鋼板で左右角度を付けて 2 本の丸棒鋼柱の底部を接続し強度を高めること。また、荷台中央へのスライド斜行式によるものとし、ワンタッチに脱着できる構造とし、小型動力ポンプ台鋼板は、左右ベアリングレールのアングルの内側に収まること。
(小型動力ポンプ台のベアリングレール上への溶接は安定性の理由から不可とする。)

(4) ホース積載装置

- ① キャビン後部に 65mm ホース 10 本以上が積載できるようにホース台を取り付け、積み下ろしが容易にでき、積載部中央にステンレスパイプで仕切り、上部にホースカバーを設けること。
- ② 左右外側面(吸管巻取り中央部)に各 1 個のホース背負器(65mm×20m・2 本用)を取り付ける台を設け、ナイロンベルト等で固定すること。ホース背負器設置側板に、傷防止のため、アルミ縞板をクリアー塗装後に取り付けること。ホース背負器にはホースの落下防止のため、フック付ゴムバンドを取り付けること。

(5) 警報装置

拡声器付電子サイレンをキャブ前部の LED 散光式警光灯内に取り付けること。

(6) 照明装置及び灯火

- ① 警報装置及びライト類（サーチライトは除く）のスイッチは、全て運転席において操作できるものであること。
- ② LED 散光式警光灯を台座に置き、キャブ上前部に取り付けること。（キャブ上中央部への取り付けは、前方視界重視のため不可とする。）
- ③ 標識灯の記入文字は、それぞれ、「窪田分団」「穂積分団」とすること。
- ④ 前部バンパー付近に赤色点滅灯（LED）を左右各 1 個取り付けること。
- ⑤ 開放部（左右の吐水口）及び車両後部（小型動力ポンプ積載部に 2 個）を照らす LED 照明を取り付けること。
- ⑥ 後部手すり付近に赤色点滅灯（LED）を左右各 1 個取り付けること。
- ⑦ 伸縮式 LED サーチライトを、車体後部手すりの支柱左右に取り付けること。
- ⑧ 伸縮式 LED サーチライト用に新たなメタルコンセントを車体後部手すりの支柱左右付近に取り付け、防水処置を施すこと。
- ⑨ シャン後部方向指示器、反射鏡及びブレーキランプは、リアステップ左右縁枠に取り付けること。

(7) その外取付品・附属品等

- ① 後部ステップに消火栓媒介金具を取り付けること。
- ② 管鎗立は荷台後方左右に各 1 個取り付けること。
- ③ 分岐管立は 2 個取り付けること。
- ④ 剣先スコップ及び金てこ（25×1200 mm）を荷台内側面に取り付けること。
- ⑤ スタンドパイプ（単口引上げ式）及び消火栓鍵付蓋用開閉金具を荷台側面（内面）に取り付けること。
- ⑥ 車両荷台前方部に器具等の収納ボックス（アルミ）並びに燃料携行缶（20 ㍓入）及びリバーシブルホースブリッジ（2 個）の収納ボックス（アルミ）を設けること。
なお、燃料携行缶とリバーシブルホースブリッジは、保護バンドで固定できること。
- ⑦ 左側面に無反動管鎗を取り付けること。
- ⑧ とび口は、左側面上部に 2 本取り付けること。
- ⑨ ABC 消火器 6kg20 型（自動車用）を左側面に 1 本取り付けること。
- ⑩ 吸管スパナを左外側面に取り付けること。
- ⑪ 右側上部に二連梯子を取り外しが容易にできるように取り付けること。
- ⑫ 車輪止め（ゴム製）を右前外側面に取り付けること。
- ⑬ 訓練旗立を荷台部四角に各 1 個取り付けること。
- ⑭ 左右前部ドア側面に、白文字丸ゴシックで「加東市消防団」を入れること。（大きさは約 10 cm×10 cm）同様に左右後部ドアに分団名を入れること。（左書き）
- ⑮ 車両に指定のバックカメラ、室内用モニター、ドライブレコーダーを設置すること。
バックカメラは、車体後部手すりの上部に 50 角フレームを設け、カメラを取り付けること。配線はコルゲットチューブで 50 角パイプの中に通すこと。
- ⑯ 長期運用するため、艀装の接続部分にシーラーコーキングを施すなど錆止め防止措

置を施すこと。

5 取付品、附属品及び艀装品仕様（1 台当たりの数量）

番号	品 名	規格又は参考指定製品	数 量
1	シャシ	1.0t 以内・2 駆・ダブルキャブ・AT	1 台
2	小型動力ポンプ	(株)シバウラ防災製作所 FF510	1 台
3	本艀装		1 式
4	団マーク		1 個
5	吸管受け金具	両サイド 2 箇所	7 個
6	ホース背負器	65 mm×20m 2 本用	2 個
7	LED 散光式警光灯（標識灯（黄色・分団名入））	(株)パトライト ALD-M1FYFR-RR-53N	1 個
8	拡声器付電子サイレン	(株)パトライト SAP-520FBV マイク付	1 式
9	車両前部赤色点滅灯 (LED)	(株)日恵製作所 NY9400DM	2 個
	車両後部赤色点滅灯 (LED)		2 個
10	伸縮式 LED サーチライト	(株)佐藤工業所 フラッシュボーイ ソブライト	2 個
11	消火栓媒介金具	YONE(株) 75mm ネジメス×65mm 差込メス	1 個
12	スタンドパイプ	YONE(株) 800L 鑑定単口引上げ式 アルミ製	1 個
13	金てこ	25φ1200mm	1 個
14	剣先スコップ	ステンレス製	1 個
15	梯子	4m 二連梯子	1 脚
16	とび口	1.8m	2 本
17	自動車用消火器	(株)初田製作所 ABC 粉末 6kg20 型	1 本
18	消火栓鍵付蓋用開閉金具	長さ：呼称 800 持手：呼称 300	1 本
19	車輪止め	中型ゴム製	2 個
20	燃料携行缶	20 ㍓	1 缶
21	器具等収納ボックス	内張りクッションゴム取付 ブロック蝶番不可	1 式
22	工具セット	藤原産業(株) E-Value ETS-60G 自動車用 60 点組	1 式
23	吸管スパナ		1 個
24	管鎗	YONE(株) PP65A-L 取手バンド整流板入	1 本
		YONE(株) 無反動管鎗 α PL-65A	1 本
25	吸水管	櫻護謨(株) ライトウェイトデラックス 75 mm×6m (右側)	1 本
		櫻護謨(株) スーパーデラックス 75 mm×8m (左側)	1 本
26	エルボ	YONE(株) AS-75SW・90 と別注延長エルボ	1 式
27	噴霧ノズル	YONE(株) プロコンペ 21	1 本
		YONE(株) ダブコンマーク II NV-65W・II	1 本
28	分岐管	YONE(株) 分岐ボールバルブ WB-65・65	1 個
29	ポリカゴ		2 個
30	75 ストレーナー		2 個

31	吸水管ゴム		4 本
32	S カン	ステンレス製 両サイド止めキャップ付	6 個
33	吸水管ロープ	10 mm×10m	2 本
34	ホース背負器用フック付 落下防止ゴム		2 本
35	スタッドレスタイヤ	(株)ブリヂストン W989 スペア込 3 本 (株)ブリヂストン VL10A スペア込 5 本	8 本
36	バックカメラ	シャシ標準装備のバックカメラを使用	1 台
37	室内用モニター	シャシ標準装備の室内用モニターを使用	1 台
38	ドライブレコーダー	(株)コムテック DC-DR413	1 台
39	キャブ内 LED 室内灯	(株)日恵製作所 NY758SD	1 個
40	サーチライトカールコード	1.25 スケール芯 100cm	2 本
41	サーチライトメタルコンセント	取り外し可能 防水型	2 個
42	全自動充電器用カバー、コンセント	金属防水プレートカバー、マグネットコンセント	1 個
43	リバーシブルホースブリッジ	(株)岩崎製作所 02RV310R	2 個
44	丸フェンダー		2 個
45	ホースカバー		1 枚
46	全赤色塗装		1 式
47	車両文字	白色丸ゴシック	1 式
48	LED ポンプ室内灯	(株)日恵製作所 NY909	2 個
49	車両用バッテリー充電器	CTEK WCMXS5.0JP	1 個
50	中継圧力制御バルブ	YONE(株) リレーコントロールバルブ タイプ F	1 個

参考指定製品は、その後継品であれば別品番であっても可とする。また、他メーカー及び別品番であっても同等品以上であれば可とする。ただし、参考指定製品以外の製品を使用する場合は、入札前に、後継品または同等品以上と説明できる資料を添えて、質疑書を提出することとする。

入札後の製品変更は原則不可とするが、参考指定製品が廃盤になる等の理由で、やむを得ず別製品を使用しなければならない場合は、必ず事前に市担当職員の承認を得るものとする。

令和8年度

小型動力ポンプ仕様書

加 東 市

小型動力ポンプ仕様書

1 総則

- (1) この仕様書は、加東市（以下「当市」という。）が購入し加東市消防団に配備する小型動力ポンプ（以下「ポンプ」という。）について、必要な事項を定めるものとする。
- (2) 入札にあたりこの仕様書を了承し、疑問点については、定められた期間、方法により質問し、十分に熟知した上で応札すること。
- (3) ポンプの保証期間は、納入後 1 年間とする。ただし、受注者に起因するものは、使用期間中にわたり保証すること。
- (4) 納期、台数及び納入場所は、次の通りとする。
 - ① 納 期：令和 9 年 2 月 26 日
 - ② 台 数：3 台（田中分団、奥分団、岩屋分団）
 - ③ 納 入 場 所：加東市内
- (5) 既存の車両への載せ替えに際して、必要に応じて、既存レールの改造又は新規レールの設置を行い、改造又は新規設置後に補修塗装を施すこと。またポンプ充電は、既設のマグネット式充電口を利用し、外部 100V 電源から小型動力ポンプのバッテリーが全自動で充電出来るようにすること。（マグネット式充電口が設置されていない車両は、この限りでない）
- (6) 車両のバッテリーを利用して小型動力ポンプのエンジン始動ができるようにバッテリー併用装置を取り付けること。
- (7) 受注者は、既存レールの改造又は新規レールの設置にあたり、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- (8) ポンプは、各部清掃、注油、点検及び手入れ、満給油を行なった後納入すること。
- (9) 取り扱い説明は、当市の指示する場所で行なうこと。
- (10) この仕様書に定めのない事項については、当市の指示を受けること。

2 提出書類

受注者は、納入時に次の書類を 2 部提出すること。

- ① メーカー発行の小型動力ポンプ代理店証明書類の写し
- ② 小型動力ポンプ取扱説明書
- ③ 国家検定合格証及び鑑定合格証の写し
- ④ その他、当市から指示したもの

3 ポンプの仕様

- (1) 2 気筒 2 サイクル水冷式とする。
- (2) 検定出力 32 k w とする。
- (3) セルモータ・リコイル始動方式とする。
- (4) 環境にも配慮した低騒音・低排煙タイプの機種とする。
- (5) 電子制御燃料噴射システムとする。（燃料コック、キャブレーター不要であること。）
- (6) 分離給油方式とする。

- (7) オーバーヒート防止自動停止装置を装備していること。
- (8) 真空ブレードの材質は耐久性に優れたピーク材（樹脂系）とすること。
- (9) 冷却水温上昇防止用の自動バルブを装備していること。
- (10) 電源切り忘れによるバッテリー放電防止の為、オートパワーオフ機能（30 分経過後 OFF）を装備すること。
- (11) バッテリーの充電が十分でなくても、リコイルにより ECU が作動しエンジンが始動すること。
- (12) 自己診断機能を有すること。
（異常検知 セーフティモードで運転継続／点滅パターンで診断可能）
- (13) ガバナ機構以外に、エンジンオーバーレボ（高回転防止）機能を有すること。
- (14) 参考指定製品 株式会社シバウラ防災製作所 FF510（国家検定 B-2 級）

4 附属品

受注者は、ポンプ納入時に次の附属品を併せて納入すること。

- ① ポンプカバー 1 枚
- ② ポンプ工具 1 式
- ③ ポンプ用全自動充電器 1 個（車両に設置）

5 参考：既存のポンプ

- (1) 田中分団：ラビット消防ポンプ P555
- (2) 奥分団：ラビット消防ポンプ P555
- (3) 岩屋分団：シバウラ消防ポンプ SF756Z

6 その他

参考指定製品は、その後継品であれば別品番であっても可とする。また、他メーカー及び別品番であっても同等品以上であれば可とする。ただし、参考指定製品以外の製品を使用する場合は、入札前に、後継品または同等品以上と説明できる資料を添えて、質疑書を提出することとする。

入札後の製品変更は原則不可とするが、参考指定製品が廃盤になる等の理由で、やむを得ず別製品を使用しなければならない場合は、必ず事前に市担当職員の承認を得るものとする。